

事業番号0329											
平成２９年度行政事業レビューシート（厚生労働省）											
事業名	災害時公衆衛生従事者緊急派遣事業				担当部局庁	健康局			作成責任者		
事業開始年度	平成２４年度	事業終了 （予定）年度	終了予定なし		担当課室	健康課地域保健室			地域保健室長 堀川 春男		
会計区分	一般会計										
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	－				関係する計画、 通知等	－					
主要政策・施策	－				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	震災後の保健師等を中心とした保健活動は、被災者の健康状態の悪化などの防止に大きな役割を果たしている。保健師等の派遣にあたって、被災地の保健ニーズを的確に把握し、適切な地域に迅速に派遣する支援体制の整備を図る。										
事業概要 （5行程度以内。別添可）	保健師等を中心とした公衆衛生従事者を被災地に派遣し、迅速かつ的確な支援体制を確立するため、災害時における派遣ガイドラインの作成や派遣者の養成研修を実施する。										
実施方法	直接実施										
予算額・執行額 （単位：百万円）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	2	2	2	2	2				
		補正予算	－	－	－	－					
		前年度から繰越し	－	－	－	－	－				
		翌年度へ繰越し	－	－	－	－					
		予備費等	－	－	－	－					
	計		2	2	2	2	2				
	執行額		0.4	0.1	0.3						
	執行率（％）		20%	5%	15%						
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		20%	5%	15%						
平成29・30年度 予算内訳 （単位：百万円）	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	庁費		0.5	0.5	－						
	委員等旅費		0.5	0.5							
	諸謝金		0.3	0.3							
	職員旅費		0.2	0.2							
	計		2	2							
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 35年度
	平成35年度に保健所が実施した健康危機管理研修の実施回数を486回まで引き上げる		保健所が実施した健康危機管理研修の実施回数（間接的指標）		成果実績	回	259	240	集計中	－	－
					目標値	回	253	259	240	－	486
					達成度	％	102.4	92.7	集計中	－	－
根拠として用いた統計・データ名 （出典）	地域保健・健康増進事業報告 地域保健編第1章総括編 表番号42 保健所が実施した市町村職員に対する研修(指導)の実施回数・参加延人員，都道府県、研修(指導)内容別										
活動指標及び 活動実績 （アウトプット）	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	会議等開催件数			活動実績	回	3	1	1	－		
				当初見込み	回	2	2	1	1		
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	前年度実績額(千円)／会議等開催件数			単位当たり コスト	千円	121	75	314	1,534		
				計算式	x / y	363 / 3	75 / 1	314 / 1	1,534 / 1		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	I-11 健康危機管理を推進すること										
		施策	I-11-1 健康危機が発生した際に迅速かつ適切に対応するための体制を整備すること										
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度			
			健康危機管理保健所長等研修の受講者出席率	実績値	%	91	94	119	-	-			
				目標値	%	90%以上	90%以上	90%以上	-	90%以上			
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
		地域における健康危機管理の拠点である保健所職員の研修を行うことは、多様化する健康危機事例に適切に対応するための体制整備という観点で有効である。											
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			-	成果実績	-	-	-	-	-	-			
目標値				-	-	-	-	-	-				
達成度				%	-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-				
			目標値	-	-	-	-	-	-				
			達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
-													

事業所管部局による点検・改善			
	項 目	評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本経費は、災害発生時の被災地での支援体制を確立するための経費であるため、国民のニーズが高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本経費は、災害発生時の被災地での支援体制を確立するために必要な経費であり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本経費は、災害発生時の被災地での支援体制を確立するために必要な経費であり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	消耗品等に係る支出の抑制等によりコストの削減に努めており、妥当な水準である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	本経費は、災害発生時の被災地での支援体制を確立するために必要な経費であり、実状に応じて適切に執行している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	防災業務計画の修正が見込まれている中、研修内容がそぐわない可能性があることを鑑みて、研修会の開催等を見送ったことから不用が生じた。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	保健所が実施した健康危機管理関連会議開催回数は高水準で推移しており、成果目標に見合ったものとなっている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	会議等の開催件数は見込みに見合ったものである。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			-	-		
	所管府省名	事業番号	事業名				
	点検・改善結果	点検結果	本事業は、安心・安全な国民生活のため、広く国民に健康危機に関する情報提供を行うことを目的とした経費であり、当該事業の重要性を鑑みると、適切に執行されていると判断している。				
改善の方向性		事業の目標は達成できているが、予算の執行率は低い水準であるため、予算の見直し等を検討する。					
外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	災害発生時の被災地での支援体制を確立するために必要な事業であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	-						
備考							
-							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	新24-017	平成24年度	新24-0013		
平成25年度	297	平成26年度	309	平成27年度	322		
平成28年度	319						

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)	※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。					
	厚生労働省 0.3百万円 災害時公衆衛生従事者緊急派遣事業に係る執行の管理等 ↓ 予算の振替 国立保健医療科学院 0.3百万円 災害時公衆衛生従事者緊急派遣事業の実施 ↓ 委託【随意契約(少額)等】 A.事務費 0.3百万円 健康危機管理保健所長等 研修諸謝金、旅費、消耗品費					
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社タイチ	9011001013213	災害時公衆衛生従事者緊急派遣事業にかかる消耗品費等	0.2	随意契約(少額)	-	100%	-
2	株式会社フォーサイト	7011301006050	災害時公衆衛生従事者緊急派遣事業にかかる消耗品費等	0.1	随意契約(少額)	-	100%	-
3	個人A	-	災害時公衆衛生従事者緊急派遣事業にかかる謝金・旅費(旅費支給)	0	その他	-	-	-
4	個人B	-	災害時公衆衛生従事者緊急派遣事業にかかる旅費(旅費支給)	0	その他	-	-	-
5	個人C	-	災害時公衆衛生従事者緊急派遣事業にかかる旅費(旅費支給)	0	その他	-	-	-
6	個人D	-	災害時公衆衛生従事者緊急派遣事業にかかる旅費(旅費支給)	0	その他	-	-	-
7	個人E	-	災害時公衆衛生従事者緊急派遣事業にかかる旅費(旅費支給)	0	その他	-	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-	-	-	-	-